

助教  
井手 裕子

## ■ 学歴

1. 2006年 大分大学大学院医学系研究科修士課程看護学専攻(修士課程) 修了

## ■ 学位

1. 2006年 修士(看護学)

## ■ 研究分野

1. 成人看護学

## ■ 研究キーワード

1. 成人慢性期看護学実習
2. コロナ禍における実習

## ■ 研究課題

1. 成人慢性期看護学実習において、青年期である学生に効果的な学びができるような指導の工夫について実践し考察する。
2. コロナ禍において、臨地での実習経験が乏しい学生が効果的に学ぶための要素について考察する。

## ■ 担当授業科目

1. 成人看護学演習(前期)
2. 成人慢性期看護学実習(後期)
3. 看護学(栄養学科)(後期 ※2023年度開講なし)

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- |    |  |
|----|--|
| 1. | <p>授業科目名【成人看護学演習】</p> <p>&lt;看護過程演習&gt;</p> <p>例年と同様 1 グループ 4 人編成で 2 人の教員で 6 グループ(24 名)を担当した。今年度の 3 年生は、コロナ禍も落ち着き、殆どの学生が 2 年次に臨地での基礎看護学実習を体験できていた。従って指導時には、演習事例の紙上患者のイメージ化を図る目的で、個々の学生の基礎実習での学びを想起させるように声掛けを行った。また、グループワークの活性化のために、発言の少ない学生に意図的に声掛けを行うなどの交流を深めさせることにも注意を払った。</p> <p>事例は例年通り、慢性期事例(肝硬変)と急性期事例(胃癌)の 2 事例であり、事例ごとにもう一人の教員と担当を変えて全グループ把握に努め、演習前後で教員間で個々の学生への指導等について調整を図った。</p> <p>&lt;技術演習&gt;</p> |
|----|--|

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度より患者教育の技術演習では、慢性期事例の看護診断「非効果的健康管理」の教育計画(EP)を実際実践させている。計画立案時に、具体的な指導案や必要に応じて媒体の作成など、患者教育についての学びを深めさせた。各グループでの学びの成果を発表会という形で実施したが、発表後の質疑応答では単純なやり取りに終わらないように、質問者には質問の意図を、回答者には回答の根拠を明確にするような声かけを行った。ティーチングアシスタントとして例年4年生に患者役として参加してもらっているが、4年生にとっては実習で学んだ「慢性疾患のリアルな患者像」を3年生に伝えることで学びが深まるようにロールプレイ時の工夫点を指導した。</li> <li>・血糖測定、インスリン自己注射の演習では従来通り1グループ5～6名の学生で行い、基本的な技術の取得を行った。ティーチングアシスタントとして参加する4年生にも、低学年の技術指導を通して再度学びを深めさせた。</li> <li>・術直後の演習では、昨年度からの術後の清潔ケアの学習へ取りくみ、全体での演習後、1グループの学生達のデモンストレーションを実施、学びを共有させた。</li> </ul>
2.	<p>授業科目名【成人慢性期看護学実習】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年より臨地での実習が再開された。実習2施設のうち、A病院の実習時間は午前もしくは午後3時間と限定されているため、その時間で効果的かつ有意義な実習ができるように常に臨地の実習指導者と調整を重ねた。</li> <li>・3週目の学内実習では個々の学生に実習での学びを発表させているが、発表後のディスカッション時に各施設、各病棟での学びを深め共有できるように意識してコメントした。</li> <li>・今年度も留年生が多く、1グループに1人の留年生が居ることが多かった。留年生の中には、メンタル的な問題を抱えている学生も多く、まずはグループ間の交流を後押しができるように関った。</li> </ul>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1996年4月～現在に至る	聖路加看護学会	
2.	1996年6月～現在に至る	日本看護研究学会	
3.	1998年4月～現在に至る	日本看護学教育学会	
4.	1998年6月～現在に至る	日本看護診断学会	
5.	2003年8月～現在に至る	日本糖尿病教育・看護学会	
6.	2008年10月～現在に至る	日本看護科学学会	
7.	2017年7月～現在に至る	日本慢性期看護学会	

## ■ 研究業績等に関する事項（2023年度）

	発行又は発表の年月	著書、学術論文等の名称	単著・共著の別	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)					
1.					
(学術論文)					

1.					
(翻訳)					
1.					
(学会発表)					
1.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				

## ■ 社会における活動

	任期 期間等	団体・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.			

## ■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任期 期間等	会議・委員会等の名称 (内容)	役職名等
1.	2023.4.1～2024.3.31	看護学科3年生アドバイザー	
2.	2023.4.1～2024.3.31	看護学科物品係	